

高松市議会議員 **春田 敬司** と明日を考える。



春風通信

Haru kaze Communication

コロナ禍を克服!ピンチをチャンスに!



目指すべき未来に備え、
いま出来得ることに注力する!



昨年新型コロナウイルス感染症により、世の中が一変しました。新しい生活様式(ニューノーマル)が求められ、今までの暮らし方、働き方、大切にすべきことなどを見つめ直す機会となりました。

新しく迎えた年の干支は辛丑(かのとうし)で、痛みを伴う変革の年となるそうです。ピンチをチャンスに変え、より良い一年にして参りたいと思います。

益々厳しい財政!予算の見直しを!

国は2021年度予算案と第3次補正予算案を一体の15カ月予算と位置づけ、新型コロナウイルスへの備えを強化するとしています。

高松市でも先ずは、命を守るために医療支援や保健所の体制強化、介護サービスが継続して市民に提供できるよう支援に努めます。また、暮らしを守るための、経済対策を柔軟に実施できるよう知恵を絞ります。

市の財政状況は益々厳しくなる為、更なる事業の見直しが必要となります。

ワクチン接種を円滑に!

厚生労働省の計画では、先行して医療従事者を対象に2月下旬から接種を始め、その後、高齢者から優先的に接種を行い、段階的に対象を広げていくこととしています。

ワクチン接種の実施主体が基礎自治体である高松市となっており、かつてない規模の予防接種となるために、円滑に実施できるよう万全の準備に努めます。

IT技術の活用で暮らしを豊かに!

デジタル化は、人と人との分断を強めるコロナ禍を乗り越えていく一つの手段です。そしてピンチをチャンスに転じ、高齢者や困難を抱える人にも使いやすい、もっと便利となるデザインにし、誰ひとり取り残さない社会・高松市をめざします。



発熱などの症状のある方の相談・受診体制について

まずは、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談ください。どこに相談すればよいか分からない場合は、香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンターに連絡をしてください。

香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター

・電話番号0570-087-550(専用ナビダイヤル)

聴覚障害などで電話での相談が難しい方は、保健所の感染症相談窓口にてファクス(087-813-0221)でご相談ください。



活動報告

4月17日

市長への緊急要望書を提出



会派6人で、市民からの声をとりとめ、新型コロナウイルスの影響から市民を守るための緊急要望書を市長に提出しました。

10月24日、25日

公明党政策要望懇談会に参加



18団体からの要望をお聴きし、国・県・市それぞれが出来得ることに取り組んでいます。高松市では12月議会にも反映させました。

会計報告〔政務活動費〕

2020年4月～2020年12月

経費の区分	金額
1 調査研究費	88,168
2 研修費	0
3 広報費	258,865
4 広聴費	0
5 要請・陳情活動	0
6 会議費	22,700
7 資料作成費	6,492
8 資料購入費	5,500
9 人件費	0
10 事務所費	0
合計	381,725円

市民相談件数

2020年4月～12月 96件【累計 1,813件】

相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

主な活動実績 2020年4月～12月

- 4月17日 市長へ「新型コロナウイルスの影響から市民を守るための緊急要望書」提出
- 30日 第2回目の緊急要望書提出
- 5月14日 第2回臨時議会
～15日
- 6月10日 第3回定例議会
～25日
- 30日 NPO法人アーキペラゴ総会に出席
- 7月2日 高松市総合教育会議を傍聴
- 18日 「withコロナ時代に高松で生きていく共創事業をつくろう」オンライン参加
- 20、21日 第4回臨時議会
- 8月4日 建設水道常任委員会に出席
- 22日 わたしからはじまるコミュニティワークに参加
- 23日 KHJ香川県オリーブの会月例会に参加
- 30日 香川県防災会議・総合訓練に参加
- 9月5日 たかまつ地域づくりチャレンジ塾に参加
- 7～24日 第5回定例議会
- 15日 一般質問に登壇
- 26日 弦打小学生・防災キャンプで講演
- 27日 弦打校区防災訓練に参加・実施
- 10月5日 芸術士保護者アンケート報告会に参加
- 11日 かがわ国際フェスタ2020に参加
- 24、25日 公明党香川県本部政策要望懇談会に参加
- 29日 中核市サミット2020in倉敷に参加
- 11月7日 市政130周年記念式典に参加
たかまつ地域づくりチャレンジ塾に参加
- 18日 総合教育センター・ポスターセッションに参加
児童虐待防止講演会に参加
- 27・30日 第6回臨時議会
- 12月4日～ 第7回定例議会
- 21日(14日) 一般質問に登壇



高松市議会議員
春田 敬司
はるた けいし



オフィシャルサイト
<http://www.haruta.jp>
E-mail: info@haruta.jp



春風通信 はるかぜつうしん Vol.16
発行者:高松市議会議員 春田敬司 発行日:2021年1月
連絡先:高松市香西東町14番地8 電話:087-881-6411

令和2年第5回定例会 (9月15日)での一般質問

コロナ禍の今、そして未来に向けて備えておくべき事項として、具体的な取り組み事例を紹介し、政策提案しました。



1.生活再建支援の取組みについて

- (1)生活再建型債権回収を行う考え
- (2)生活困窮者自立支援制度の家計改善支援を実施する考え

コロナ禍において生活に困窮する方が増加することも想定し、生活再建への支援をより一層充実させるよう促しました。そして、生活困窮者自立支援事業における「家計改善支援」がようやく開始されることになりました。

2.避難所の公衆無線LAN (Wi-Fi) の整備について

- (1)コミュニティセンターを災害拠点として公衆無線LANシステムを整備する考え
- (2)学校体育館で災害時に公衆無線LANを活用できるための整備を行う考え

学校体育館の災害時におけるWi-Fi使用は検討が進むこととなりました。コミュニティセンターは、携帯事業者からの貸与で災害時には対応できませんが、通常時の使用はできません。議会での更なる議論が進むことを望みます。



3.都市計画について

- (1)市民や企業が参画するアーバンデザインセンターなど都市開発のしくみづくりに対する所見
- (2)都市計画マスタープランの地域別構想を検討する場を設ける考え
- (3)高松市市営住宅長寿命化計画の更新への考え

ポートランド市の先進事例を基に、アーバンデザインセンターなどの市民参画を図ることが検討されることになりました。

令和2年第7回定例会 (12月14日)での一般質問

10月に開催した公明党香川県本部・政策要望懇談会に参加された18団体から頂いた要望と、日頃の訪問対話から得られた知見を基に十分な調査を行い、高松市において必要と判断した5項目にわたり質しました。



1.農地付き空き家を活用した移住促進について

農業従事者の減少や高齢化等による耕作放棄地の増加や農業後継者の不足などの課題解決のため、規制を緩和し、移住者による就農に繋がるよう農地付き空き家の活用が進むことになりました。

2.ナンバープレートが付いた商品軽自動車の課税免除について

税の不公平を正す為に、ナンバープレートが付いたまま商品として展示している軽自動車の税を減免するよう求めました。政令市を中心に多くの市での導入が進んでおり、早期の実施に向け取り組んで参ります。

3.住宅耐震化事業の見直しについて

高松市の住宅耐震化事業が停滞していることを指摘し、新耐震基準の木造住宅にまで補助対象を広げることや、耐震シェルター設置補助の拡充、簡易耐震改修に併せ行うリフォームに対しても補助を行うことを求めました。来年度の「住生活基本計画」策定時に併せて検討することになりました。

4.ひきこもり支援策の充実について

重層的支援体制を早期に整備し、居場所への支援を行うことや、支援の見立てを共通化するアセスメントシートの活用を求めました。

5.不登校児童生徒への支援支実について

オンライン学習を活用した出席扱いを明確化することや、民間施設のガイドラインを設けること等、連携支援を促進するよう提案しました。

暮らしに役立つ情報

11月補正予算・12月補正予算から

●健康・生活支援

65歳以上の高齢者へのPCR検査費用補助

新型コロナウイルスへの感染に不安を抱え、自費でPCR検査を受ける無症状の65歳以上の方に検査費用の一部を助成します。

実施期間 令和2年12月10日から令和3年3月31日まで

市助成額検査 1回あたり、17,000円を市が助成します。

自己負担額 検査にかかる費用のうち、市が助成する17,000円を差し引いた残りの額が自己負担となります。

問い合わせ 長寿福祉課 (☎839-2346)



▲詳しくはこちらから

●子育て支援対策

こども・子育て支援臨時特別給付金

児童手当を受給する世帯(平成17年4月2日～令和2年11月30日生まれ)に対し、給付金を支給します。

支給額 対象児童1人につき1万円

申請方法 申請は必要ありません。

問い合わせ こども園総務課 (☎839-2359)

●新型コロナウイルス感染症特別追加経済対策

・飲食業営業継続応援金

市内に店舗を有する飲食事業者
1店舗につき10万円

問い合わせ
産業振興課 (☎839-2411)



▲詳しくはこちらから

・宿泊業営業継続応援金

市内に施設を有する宿泊事業者
1施設にあたり、
ホテル・旅館30万円、簡易宿所10万円

問い合わせ 観光交流課 (☎839-2416)



▲詳しくはこちらから

「高松市マイシティレポート」が 令和2年10月1日から開始

市民と行政の協働の取り組みのきっかけとして、高松市内で起きている様々な課題、例えば、道路に穴が開いている。公園の遊具が壊れている。など、地域で困った課題をスマートフォンアプリを使って、市民がレポートすることで、合理的、効率的に解決していく仕組みです。

My City Reportアプリの インストールとユーザー登録の 方法について

AppStore又はGoogle Playよりご使用のスマートフォンにMy City Reportアプリ(以下:MCRアプリ)をインストールします。
検索ワード「mycityreport」



AppStore



GooglePlay



「商都たかまつ!最大25%戻ってくる おかわりキャンペーン」を実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で冷え込んだ地域経済の再活性化を図るため、令和2年10月に行ったスマートフォン決済サービス「PayPay」を利用した消費拡大キャンペーンについて、内容を拡充し、再度実施しています!

令和3年1月5日(火)～2月28日(日)の2か月間

